

## 会議録

横浜市特別職職員議員報酬等審議会会議録	
日 時	令和7年1月20日（月）13時30分～14時30分
開催場所	市庁舎18階会議室 みなと1・2・3
出席者	秋山委員、岩田委員、菊池委員、須田委員、住田委員、高岩委員、戸塚委員、林委員
欠席者	上野委員、片岡委員
開催形態	公開（傍聴者1人）
議 題	特別職給料及び議員報酬の額について
決定事項	特別職給料及び議員報酬の額については据え置きとする。
議 事	<p>1 議 事 特別職給料及び議員報酬の額について            （事務局） 一般職職員（8級）の給与改定状況、他都市と比較した場合の特別職の給与等の状況、これまでの改定の経緯等について説明。</p> <p><b>【審議】</b></p> <p>（秋山委員） 8級の累積改定率が初めてプラスに転じ、0.80%とあるが、これまでの審議では1%を超えたときに改定されていたということであり、人口が多い都市ということもあるが、他都市と比べると高い水準にあること、横浜市の財政状況としても歳出改革を進めている状況にあることを踏まえると据え置きでよいと思う。</p> <p>（岩田委員） 今年度の一般職職員の改定についても、若年層を中心としていること、8級の累積改定率が1%未満であること、据え置きとしても他の政令市と比べて高い水準にあること、財政的に厳しい水準ということから、据え置きでよいと思う。ただし、市長については給与月額の実績値において名古屋市に次いで2番目ということだが、横浜市の方が人口・面積が相当に多い中で、1番でもよいように思う。この点を判断するために、両市の税収がどうなっているのか気になる。</p> <p>（菊池委員） 歳入・歳出の長期推計を見ても厳しい状況にあるということ。他都市との比較において高い水準にあるということ踏まえると据え置きと考える。</p> <p>（住田委員） 消費生活推進員の立場で、消費への喚起が必要と考えている。インフレや物価の高騰に給与が追いついていない状況の中で、市長の給与は（民間企業の）給料引上げの一つの指標になると思うので、引き上げてもらいたいと思う。</p> <p>（高岩委員） 町内会代表の立場として、物価高騰による生活への影響が大きくなっている実感があるが、市長等の給料体系を見ると物価高騰の影響は少ないのではないかと感じる。市長の職の責任や仕事の量からすると、引き上げてよいとも思うが、今回の説明を踏まえると、据え置き。</p> <p>（戸塚委員） 一般職職員も上がっており、8級職員も上がっているので引上げと</p>

	<p>思っていたが、各都市の状況も据え置きが多く、引上げが3都市、引下げの都市もある中で、もともと政令市の中でも一二を争う高さであることを考慮すると、据え置き。</p> <p>(林委員) 8級が1%に満たないということが一つの指標になっていると認識している。一方で、世の中のトレンドでいうとそろそろ引き上げる時期が近付いていると思う。</p> <p>いくら引き上げるかという指標が無いように思うので、次年度に向けて、何円単位で引き上げるかという指標や考え方を整理する必要がある。</p> <p>(事務局) (欠席委員の意見紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の一般職職員の改定状況は、若年層の職員に重点を置いており、8級の累積改定率が1%に満たないこと等を勘案すると、現状は据え置きでよいと思う。</li> <li>・ 物価高騰や賃上げ傾向の社会状況からすれば、横浜市の特別職や議員の給料・報酬を上げることで、賃上げの機運を更に高めてもらいたいという思いもあるが、8級の累積改定率が1%に達していないことや、他都市の改定状況を踏まえれば、今回は据え置きでも構わないと考える。</li> </ul> <p>(須田会長) 欠席委員の意見も含め、据え置きが8名、引上げが1名となっているが、審議会として意見をまとめたい。</p> <p>(住田委員) 物価高騰の状況を踏まえ、賃上げに向けた機運を高めてもらいたいということに重きを置いて先ほどは発言したが、他の委員の意見にもあるように、8級職員の累積改定率が1%に満たない状況を見ると、今回は据え置きとして次年度の検討としてもよい。</p> <p><b>【総括】</b></p> <p>「据え置くべき」と集約された。</p> <p>ただし、物価高騰等を踏まえ、改定を検討する時期が近付いていると思われる。次年度に向けて、引上げ幅の指標や考え方を整理する必要がある。</p> <p>2 その他</p> <p>市長への答申等の案文については、会長に調整を一任することとされた。</p>
資 料	横浜市特別職職員議員報酬等審議会資料 一式